

## 54 授業を通して教師も学ぶ

先週までの季節外れの暖かさはどこへやら、連休明けの今週は、この時期らしい寒気がやってきました。登校中に、ポケットに手を入れたまま歩いてくる子どもが増えてきました。「手を出そうね」と声をかけると、「はっ」と気づいたように手を出します。

以前に勤務していた学校では、小さな段差に足をとられて転倒した際に、ポケットから手が出せずに、鼻骨骨折、前歯破損(永久歯)という大きなけがにつながったということがありました。学校でももちろん指導をいたしますが、ご家庭でも声をかけるようお願いします。そろそろ手袋も必要になってきますね。

寒さの訪れとともに、新型コロナ感染者数も各地で増加しています。以前のような、市内一斉の全校臨時休校措置は今のところ教育委員会は考えていないようですが、現状がさらに悪化するようなことになれば、どのような対応が必要なのか、検討を迫られることとなります。どうか、感染予防対策についても重ねてお願いいたします。

学校では今週、新型コロナ対策をしながら、先生方の授業力向上につなげるために、3つの学級で授業研究を行いました。教科は算数、それぞれの学習内容に合わせて、子どもたちが自分の「解き方」をみんなの前で説明し、それを全体で確認しながら進めます。自分の考えが認められること、自分と同じ考えが発表されること、自分と違った新たな考えを知ること等、学びの深まりがそこにあります。そして、子どもたちだけでなく、教師もその時、子どもたちと共に学ぶのです。(もちろん私もです、はい。)



2年生 かけ算の授業